

ボントクタデ ボントクタデで、茎や葉面や苞の背面にまで著しい毛の生えたものはケボントクタデの典型的なものであるが、毛の生える部分と量にはいろいろな段階のものがあって、終いには常品のボントクタデにつながってしまう。したがって両型は品種関係におくのが適當である。なおボントクタデはヤナギタデに酷似してくるが、前者の生時の花被をつぶして嗅げば臭気がある。

Persicaria pubescens (Blum) Hara forma **acuminata** (Fr. & Sav.) Hiyama, stat. nov.

Polygonum Hydropiper L. var. *acuminata* Fr. & Sav., Enum. Pl. Jap. 2: 474 (1878).—*Persicaria pubescens* var. *acuminata* (F. & Sav.) Hara in Journ. Jap. Bot. 17: 335 (1941).—Nom. Jap. Bontoku-tade.

ネバリタニソバ タニソバの茎に開出した有柄腺毛の生えたネバリタニソバは本州の近畿地方に知られていたが、四国の伊予滑床山（山本一、1908年8月5日）にも産する。タニソバの花序下の葉状苞は鋭頭のものもあって、この点では両品を区別することができない。また茎の節間に出る腺毛の量にも多少がある。なお上記標本では葉状苞が短小となって、ほとんど消失したものも見られた。

Persicaria nepalensis (Meissn.) H. Gross forma **adenothrix** (Nakai) Hiyama, stat. nov.

Polygonum alatum Hamilt. var. *adenothrix* Nakai in Bot. Mag. Tokyo 23: 416 (1909).—Nom. Jap. Nebari-tanisoba.

○ヨコワミドロの新産地（山岸高旺）Takaaki YAMAGISHI: New localities of *Sphaeroplea annulina* (Roth.) Ag.

ヨコワミドロ属 *Sphaeroplea* の藻類は現在4種知られているが、吾が国ではヨコワミドロ *S. annulina* (Roth.) Ag. が東京・赤羽（小林・亘理）、駒場（東）、本州中部（岡田）、愛知・一宮（森）、愛知・大口村、安城市（神谷）などの各地から報告されているだけである。筆者は本種を今迄に下記の各地から採集したので報告する。いずれも5—7月頃に水田中から得たものである。従来、ヨコワミドロは珍藻の如く言われているようであるが、下記の地区以外にも、ふつうに産するものと考えられる。北海道（大沼、蘭島、月寒、中湧別）、新潟（糸生川、黒部、高岡）、群馬（板倉）、埼玉（大畑、中村、釜上、山根、肥土、上三沢、栃谷、小柱）、長野（松本、明科、四賀、上諏訪、茅野）、神奈川（西生田、登戸）、静岡（下賀茂）、石川（東金沢）、福井（松岡、東古市、武生）、滋賀（近江舞子）。（東京教育大学理学部植物学教室）。